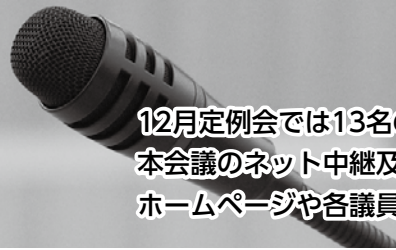




- ◇一般質問とは行政全般にわたり、市長などの行政側に対し、現状や見通しを質問したり、あるいは報告や説明を求めたりすることです。
- ◇時間制限は質問、答弁時間を含めて60分以内です。
- ◇一般質問をする議員はその要旨を事前に通告することとなっています。

一般質問



12月定例会では13名の議員が一般質問を行いました。
本会議のネット中継及び録画配信を行っています。
ホームページや各議員のQRコードから視聴できます。



12月定例会において延べ27名の方が傍聴にお越しくださいました。
ありがとうございました。



コロナ禍に翻弄された一年、来年に向け市長の展望を



暗中模索は続いたが、明るい光は必ず見えてくると確信している

北野 唯道 議員

問 二年続きとなったコロナ禍に翻弄された令和3年を振り返り、この一年を総括するとともに疲弊した市民生活に明るい希望を抱かせるような、来年に向けての市長の展望を。

答 本年も新型コロナウイルスにより医療や社会経済に甚大な影響が及んだ一年になった。私は、行政として、まずは市民の命を守る事が第一と考え、感染症の拡大防止に向け、2月初めに「コロナワクチン推進室」を立ち上げた。コロナ禍で暗中模索の状況が続いたが、明るい光は必ず見えてくるものと確信している。

問 本市における生活保護費の不正受給の実態と今後について

答 生活保護法第78条では「不実の申請その他不正な手段により保護を受け、又は他人をして受けさせた者があるときは、保護費を支弁した都道府県又は市町村の長は、その費用の額の全部又は一部を、その者から徴収する」とあり、本市の令和2年度の適用件数及び徴収決定額は15件、395万1579円である。

今後、適正な指導、徴収を徹底し、不正受給の未然防止に努める。



女性目線で観光資源をブラッシュアップ



観光客の求める流行を的確にとらえる

佐川 京子 議員



二ノ丸茶屋

問 白河の魅力ある観光資源に女性目線でさらにブラッシュアップし集客や売り上げを増やしてはどうか。

答 今後は魅力の増してきた観光資源をしっかりと発信し、観光客の求める流行を的確に捉えアフターコロナの観光誘客に取り組む。

問 しらかわ観光ステーションに駐車場を完備して欲しい。

答 既存の公共駐車場の活用を考えている。

問 米価下落により窮している農家の支援策について

答 米価に左右されない非主食用米への支援を検討していく。

問 農振地域の見直しは必要と考えるがどうか

答 定期的な見直しの必要性があると考えるが慎重に進める。

問 いじめの重大事態の対応について

答 市長に報告し調査主体・組織を判断する。公平性・中立性を確保した人選を行う。

問 男女共同参画の今後の取り組みについて

答 男性の家事参画等参加体験型の事業を検討している。



今後の健康づくりの取り組みは

健康になれるスマートウェルネスシティの実現に取り組む

室井 伸一 議員

問 コロナ禍における市民の健康づくりについて

答 新型コロナウイルス感染症や生活習慣病に負けない健康づくりのためには「新しい生活様式」に沿った感染予防の継続と健康寿命の延伸の両立を図っていくことが大変重要である。健診などの保健事業に加え、生きがいづくりや高齢者が集まりやすい場所づくり、文化とスポーツの振興など、幅広い視点から健康づくりを進めてまいる。

問 高齢者世帯や高齢者の単身世帯を対象にした住宅用火災警報器設置及び更新費用の一部を助成することについて

答 住宅用火災警報器については、平成30年度まで日常生活用具給付事業による助成を実施していたが、利用者が少なかつたなどの理由により、事業が終了していた。しかし、住宅用火災報知器の設置義務化から10年が経過し、設置機器の更新時期を迎えたものも多くあることも想定されるため、高齢者が在宅での生活を安心して送れるよう、設置助成について検討してまいる。



住宅用火災警報器

自ら学び続けるために。10周年を迎えた図書館のこれからは



図書館を心のオアシスとなるよう努める

戸倉 宏一 議員

問 市長就任以来、他の市町村に先駆けて教育文化の振興に努めていることは十分評価している。開館10年の市立図書館を今後、どのように運営し、市民の多様な要求にどう応えるのか。

答 人類は常に知を探求し記憶を保存する文字を発明した。体系的に整理・保存・提供してきたのが図書館である。これからも蔵書の拡充・施設の整備や維持・職員教育を充実させ、日々の生活に潤いや活力が生まれ、生きていく力を育む「心のオアシス」となるよう努力する。

問 統合による大信地区の大屋小、信夫二小校舎の今後の活用計画を伺う。

答 旧校舎の再利用は重要な課題と認識している。現在、廃校舎等利活用庁内検討委員会を設置し、近隣の自治体の利活用を参考にしながら検討している。一方、築50年、37年経過し



施設の老朽化も進んでいるなど諸課題もある。今後、地域の皆様の意見を伺うとともに、多様な提案を募るため市のホームページのほか文部科学省のホームページの全国廃校情報紹介欄に掲載する予定である。

これでいいのか市総合防災マップ?過去の崩落状況の掲載を



関係機関と相談し、掲載に向け検討したい。

大竹 功一 議員

問 現在、市が各戸配布している「総合防災マップ」には県が指定している「土石流警戒区域や急傾斜警戒区域等」は掲載されているが、過去の災害で崩落した場所等について掲載されていない。対応すべきではないか。

答 ご指摘のとおり、崩落場所の中には、通学路も含まれており、県や関係団体と協議の上、対応を検討したい。

問 昨年5月、全国一斉学力テストが行われた。結果と課題に向けた取組について伺いたい。

答 全国平均・県平均をやや下回ることもあったが、概ね全国・県平均同等までの学力に到達している。小6・中3ともに「書くこと」領域の正答率は、全国平均を上回ったが、小6の算数では「図形」、中3の数学では「記述式」問題で正答率が低く課題となっている。各学校と協力し、課題解決のため、公開授業等を利用し、教師の力量向上を図っている。



体験型観光への施策は



学び経験できる小峰城へ

石名 国光 議員

問 変異ウィルス感染が考えられる中、新年度予算編成に向けて市長の思いを伺う。

答 新年度予算編成では、コロナ対策に万全を期し、市民生活の利便性を向上させる迅速な情報伝達、企業の生産性を高める施設・設備のデジタル化を進め、今後の編成課程で十分に議論し、職員と知恵を絞り将来を見据えた施策に優先的に配分してまいらる。

問 小峰城東側丘陵の樹木伐採・帯曲輪と搦手門東側石垣修復計画と、体験型観光施策を伺う。

答 帯曲輪整備が今年度末完了、来春に公開の見込み、搦手門東側石垣修復は令和4年度完了予定。整備後は新たな周遊コースの提案や石積観察、門・櫓の役割などの「学び」を取り入れた体験ができるなど、小峰城の魅力を楽しめるような施策を検討してまいらる。



小峰城跡帯曲輪



搦手門脇東側石垣状況

問 民生児童委員の労力を少なくする「死亡・施設入所等」連絡体制を伺う。

答 介護入所は可能な範囲で情報を提供している。今後は会員の負担を少しでも軽減し、円滑な活動に取り組めるよう、亡くなった方のリストを毎月の定例会で提供していく。

介護保険制度がかかえる課題とは何か



「財源」と「介護人材の確保」

高橋 光雄 議員

問 介護保険制度は、家族介護から社会全体で高齢者の暮らしや健康、安全を保障するために創設され、今年で21年目を迎えた。その成果と課題及び高齢者介護施設の在り方を伺う。

答 この制度により、訪問・通所サービスや施設サービスなど、必要なときに必要なサービスを利用できるようにになり、家族の負担が軽減された。しかし、利用者の増加による介護保険財政の悪化、人手不足などから地域包括ケアシステムを構築し、再び在宅介護に戻す方向へと舵を切ったところである。介護保険制度の抱える課題は、「財源」と「介護人材の確保」。公費負担や自己負担の割合を議論する時期が早晚やってくる。

介護施設は慢性的な不足状況にある。本市でも、晩年を安心して暮らせる必要不可欠な社会資本として特別養護老人ホームを、令和6年開所を目指して整備する。公募の結果、湖山医療



医療保険に加入している
40～64歳の方は
第2号被保険者



65歳以上の方は
第1号被保険者



福祉グループの平成会が市内立石山に建設、運営する規模は、入所100床、シート20床、介護職員49人を予定している。

北の玄関国道294号 壮大な石垣を生かした景観を



石垣を顕在化し、江戸時代の植生を参考に整備

柴原 隆夫 議員

問 国道4号と東北自動車道に直結する国道294号の完成は、白河の北口玄関となり大きな「人」「物」の流れが起こり、阿武隈の清流にかかる小峰大橋に入ると真っ先に小峰城史跡の「杉林」の東側丘陵が目に入る。名所旧跡では「桜と紅葉」の季節になると行楽客が殺到する。

この「杉林」の丘陵を桜や紅葉が楽しめる景観づくりの整備をし、城山公園への立ち寄りを誘発する観光づくりは有効かと。

答 「杉林」を伐採し高さ7m、長さ180mに及び壮大な石垣を再現し、絵図に描かれている江戸時代の植生を参考に整備する。

問 国道294号の拡幅に伴い横町、田町の景観づくりを進めているが行政はどう関わるのか。

答 補助制度を拡充し、緑の連続性を基軸とした街並みの景観づくりを地元と協議しながら進める。



「杉林」が伐採され高さ7m、長さ180mの石垣が再現される

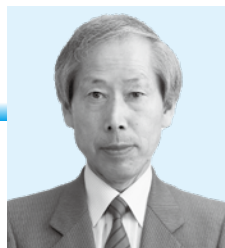


国道294号にアクセスし有効活用が期待される宝酒造跡地

問 宝酒造跡地は史跡であり発掘調査が必要で、調査に4年〜5年を要するとのことだが、有効活用が生じた場合、即利活用ができるよう先行調査することは。

答 土地の活用が決まってから調査を行う。

「ジェンダー・ギャップ」解消と脱炭素都市具体化を



男女格差是正を啓発し脱炭素施策を検討・着手する

荒井 寿夫 議員

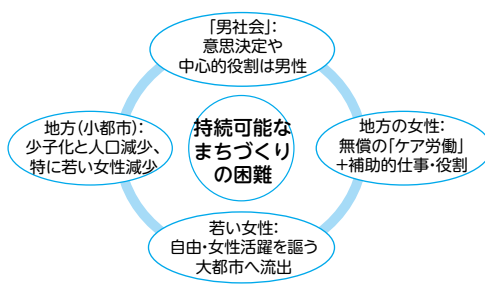
問 この間の少子化の加速の根底には無償のケア労働の女性への圧倒的偏りのうえでの性別役割の固定化というジェンダー・ギャップがあり、地方の少子化対策の盲点である。しかもそれは地方では「男社会」↓若い女性の大都市流出・人口減少↓「男社会」の悪循環を生んでいる。その解消が必要だが、どう考えるか。

答 ジェンダー・ギャップは無意識に制度や習慣に組み込まれ、解消には大胆な取組を要する。本市は市民への啓発、企業の格差是正への働きかけを続ける。

問 ゼロカーボン・シティ宣言を具体化するためには温室効果ガス排出の抜本的削減のため再エネ発電投資、公共交通機関、電気自動車、建物住宅等への支援、企業事業所や農業の脱炭素経営そして市民の環境配慮生活への変容、学校教育への気候変動教育等を要するが。



SDGs (持続可能な開発目標) 17の目標



地方の少子化対策の盲点：「ジェンダー・ギャップ」の悪循環の解消

問 本市は環境基本計画のなかで再エネ取組、公共交通や建物、企業や農家には補助制度活用、市民には「Eシカル消費」等、学校ではESD年間教育計画等を行う。

学校現場におけるジェンダー平等推進について



多様性についての理解を深めながら進める

須藤 博之 議員

問 多様性を尊重した共生社会について

答 誰もが暮らしやすい世の中とするには、広く社会を包み込む寛容性や、互いの違いを認め合う心を育むことが大事であり、その実現に向け、共感力やコミュニケーション力を高め、様々な人たちと交流できる環境の充実などに一段と注入り、人の心を隔てている見えない壁を取り払いながら、多様性を尊重した社会の実現を目指す。

問 学校におけるジェンダー平等、男女混合名簿について

答 子供たちが将来よりよい人間関係を築き、力強く生きていくためにもジェンダー平等の理念を学ぶことは重要である。男女混合名簿は全ての小学校と2つの中学校で利用しており、男女共同参画や人権教育の観点から全ての学校で作成するように指導する。



障がいがある子もない子も一緒になって遊ぶことができるインクルーシブな遊具



男女の別なく保健体育科で取り組む様子

問 親子・高齢者・障がい者が利用する身近な公園の整備と、インクルーシブ公園・遊具の導入について

答 既存公園の有効活用方法や先進的な事例も参考にし、検討する。

学校統合によって遠距離通学となる生徒へ支援を



定期券の交付を行う考え

鈴木 裕哉 議員

問 学校統合を見据えた中で遠距離通学となる児童・生徒への対応について伺う。

答 来年4月に開校する大信小学校は、現在の信夫一小が校舎となるため、遠距離通学となる信夫二小と大屋小の通学区域の児童へは、路線バスがないことからスクールバスを運行する。

また、五箇中と中央中は令和6年4月の統合となるが、統合後の五箇地区の生徒には路線バスの利用を想定している。

補助については、現在、中央中へ路線バスを利用している生徒と同様に定期券の交付を行う考えである。

問 白河には総合運動公園（中田）と大信・東地区と3つのプールがあるが、時代の流れとともに社会構造も変化し、利用者の求めるものも変わってきている。なかでも築47年が経過している中田の市民プールについて、今後の方針を伺う。

答 中田の市民プールは、建物や設備等の老朽化が進んではいるが、適宜修繕を行い、適切な維持管理に努め、今後も使用していきたい。





全国499人。子供が自らの命を絶った現実をどのように捉えているのか



山口 耕治 議員

命の尊さを学びつつ、SOSの出し方を指導し、自殺予防に努める

問 令和2年において、児童生徒の自殺数は全国で499人になり、前年から100人も増加したとの報告がある。この問題を教育長としてどのように捉えているのか、また、原因と対処方法についてお尋ねする。

答 自殺を防ぐ基盤となるのは、心の居場所となる温かな家庭があること、また、児童生徒が自尊心を高め、友達と良好な関係を築いて生活することが大切である。学校では、道徳科において発達段階に応じた教材をとおして命の大切さを学んでいる。さらに、道徳の時間を要として、教育活動全体を通じて命の尊さについても指導している。

また、今年度から「SOSの出し方に関する教育」を教育課程に位置付け、困ったら相談することが大切であることや、SOSの出し方について具体的に指導している。

今後、教員が、悩んでいる児童生徒を早期に発見するとともに、家庭や関係機関と連携を深めながら児童生徒の自殺予防に努めている。

一人でも悩まず、電話で相談してください
ふくしま24時間子どもSOS
0120-916-024
いじめ問題や不登校、体罰などの教育相談電話
ダイヤルSOS
0120-453-141
(月～金/10時～17時)

～第2次～ 概要版
いきいき健康しらかわ21
白河市健康増進計画・自殺対策計画
計画期間：2019年～2023年（後期）

めざすまちの姿は
～いきいきと健やかに明るい笑顔があふれるまち～

基本目標【健康寿命の延伸】

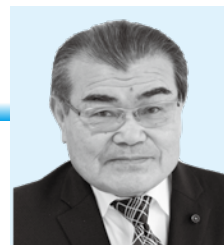
基本目標を達成するために9つの重点施策を推進します。

- ① 生活習慣病の発症予防と重症化予防の推進
食生活の改善や運動習慣の定着による一次予防と重症化予防対策を進めます。
- ② 健康を支え、守るための社会環境の整備
高齢一人ひとりの健康に安心・安全な暮らしづくりを取り組むや、食、住、地域、職業で健康を支える環境整備を進めます。
- ③ 生活環境及び社会環境の改善
災害・防災、身体活動・運動、交通、福祉及び、心の健康に関するさまざまな生活環境の改善に取り組みます。
- ④ 医療に対する健康管理の推進
個別に対応する健康予防の推進を進めます。
- ⑤ 次世代の健康
生活しわたる環境づくりと、それを次世代へ継承するため、養育となる子育て支援の実現を図ります。
- ⑥ 自殺対策の推進・生きることの包括的支援 ～自殺対策計画～
地域社会が連携して様々な自殺対策のための施策を推進します。

「いきいき健康しらかわ21」



教育のICT化(情報通信技術を活用した教育)をどのようにすすめるのか



深谷 弘 議員

教員のICT活用力をつかみ、研修を通じ技術力向上に努めている

問 教育のICT化について、GIGAスクール構想で各学校の施設・タブレット端末等の整備が整った。教育のICT化(情報通信技術を活用した教育)はどのように進められているのか。教員のICT活用指導力向上について、中教審(国)は「現職のすべての教師に求められるICT活用に係る基本的な資質・能力を示した『教員のICT活用指導力チェックリスト』の活用を求めているが、現場ではどうなっているか。

答 「チェックリスト」を用いて教員のICT活用力を把握し、研修に役立てている。これまで全職員対象のリモート研修1回、小中学校ごとの研修を複数回実施し、教員の技術力向上に努めている。


公共施設個別施設計画

問 公共施設の計画的な更新・統廃合・長寿命化については、「新たな制度を検討する」となっているが、どういったことが。

答 新築、改修や修繕に係る費用のうち、地元負担3分の1、市が3分の2を補助する制度の導入である。



令和2年度
白河市公共施設個別施設計画



令和3年3月
白河市
Shirakawa city